

政策評価調書（個別票）

【政策ごとの予算額】

政策名	科学技術・イノベーションを担う人材力の強化				番号	23		(千円)						
	予算科目				他に記載のある 個別票の番号	予算額								
	会計	組織／勘定	項	事項		7 年度 当初予算額			8 年度 概算要求額					
政策評価の対象と なっているもの	一般	文部科学本省	研究振興費	科学技術・イノベーション人材力の強化に必要な経費			4, 658, 766				6, 073, 936			
	小 計				一般会計		4, 658, 766				6, 073, 936			
						<		>	の内数	<		>	の内数	
				特別会計										
					<		>	の内数	<		>	の内数		
政策評価の対象と なっていないが、 ある政策に属する と整理できるもの	一般	文部科学本省	独立行政法人日本学術振興会 運営費	独立行政法人日本学術振興会運営 費交付金に必要な経費	21, 22, 24	<	27, 352, 191	>	の内数	<	29, 631, 003	>	の内数	
	一般	文部科学本省	国立研究開発法人科学技術振 興機構運営費	国立研究開発法人科学技術振興機 構運営費交付金に必要な経費	20, 21, 22, 25, 27, 28, 29	<	100, 771, 968	>	の内数	<	109, 236, 026	>	の内数	
	一般	文部科学本省	国立研究開発法人科学技術振 興機構施設整備費	国立研究開発法人科学技術振興機 構施設整備に必要な経費	20, 21, 22, 25, 27, 28, 29	<	414, 105	>	の内数	<	2, 078, 568	>	の内数	
	小 計				一般会計									
						<	128, 538, 264	>	の内数	<	140, 945, 597	>	の内数	
					特別会計									
					<		>	の内数	<		>	の内数		
合 計					一般会計		4, 658, 766				6, 073, 936			
						<	128, 538, 264	>	の内数	<	140, 945, 597	>	の内数	
					特別会計									
						<		>	の内数	<		>	の内数	

令和6年度実施施策に係る政策評価書

(文R6-8-1)

施策名	8－１．科学技術・イノベーションを担う人材力の強化		部局名	科学技術・学術政策局 人材政策課	作成責任者	奥 篤史
施策の概要	天然資源に乏しい我が国にとって、科学技術と人材こそが唯一の資源である。未来を創る若手研究者等の支援の強化を図るため、自立的な研究環境の整備、若手研究者等が能力を発揮できる環境整備を支援するとともに、女性研究者の育成や活躍促進を図り、あわせて、理数分野において優れた素質を持つ児童生徒を発掘して、その能力を伸ばすための取組を推進する。				政策評価 実施時期	令和6年度
達成目標及び測定指標		(別添１)「科学技術分野の政策体系等」のとおり				
施策の実施状況		(別添２)「科学技術分野の施策の実施状況（８－１）」のとおり				
施策目標に係るレビューシート		https://www.mext.go.jp/a_menu/kouritsu/detail/block30_00108.htm				
評価結果	施策の評価 【有効性の観点から】	第6期科学技術・イノベーション基本計画（令和3年3月閣議決定）において、「博士後期課程学生の処遇向上とキャリアパスの拡大」、「大学等において若手研究者が活躍できる環境の整備」、「女性研究者の活躍促進」及び「STEAM教育の推進による探究力の育成強化」を推進する旨が掲げられている。その実現のため、自立的な研究環境の整備、若手研究者等が能力を発揮できる環境整備を支援するとともに、理数分野において優れた素質を持つ児童生徒を発掘して、その能力を伸ばすための取組推進を実施し、別添1のとおり概ね成果目標に見合った成果実績が上がっている。				
	今後の施策への反映の方向性	これまで実施してきた科学技術・イノベーションを担う人材力の強化に関する取組を総括し、より有効なものとしていく。第6期科学技術・イノベーション基本計画や博士人材活用プラン、科学技術・学術審議会人材委員会等における議論を踏まえて、研究者が自立的に活動し、能力を発揮することができるように研究時間の確保をはじめとした研究環境の整備を支援することで、若手や女性をはじめとする研究者等の育成及び活躍を促進する。さらに、STEAM教育の推進をはじめとして、突出した意欲・能力を有する児童生徒の能力を大きく伸ばし探求力を育成するための取組等を推進する。				
学識経験を有する者の意見	KPI「若手研究者に自立と活躍の機会を与える環境整備の状況に関する指数（目標値：前年度実績値を上回る）」は過去より下がっているなど、2025年目標の達成に向けて努力が必要な指標が多く見える。審議会等において、政策評価で設定した指標とその推移を示し、この5年間の課題と対応方策を明示的に検討することが必要。					